

前回からの計画案の修正等について

1. 意見集約及び計画案への反映

No	意見内容	計画案への反映状況
1	気候変動や生物多様性に関して、その危機感(又はパッション)を感じられるような表現があるとよい。	(p 6-8) 「1.4 世界・我が国の動向」、「4.1 基本理念と目指す社会」の中で、現状、将来の予測リスクなどのコラムを追加。
2	関連計画の中にみどりの食料システム戦略の方が入っていないが、有機農業を通じた脱炭素に向けた動きもしているので、追加していただくとよい。	(p 12) 国が「みどりの食料システム戦略」を定めている。京丹後市でも、今後、有機農業実施計画の策定予定であり、進捗により連携計画に追記を検討。 なお、「みどりの農産物認定委員会」を p 40 「(2) 連携」の中に追記。
3	基本理念と目指す社会の部分に、環境対策をやるのが、暮らしの質が上がっていくということと結びつけてやっていくことが感じられるようにウェルビーイングという言葉は何らかの形で入れてはどうか。	(p 15) ウェルビーイングを追記。
4	市民の方々への認知を上げる意味では、京丹後市として環境政策の中で一番のポイント、京丹後市はこんなことやっていくんだというキャッチーな旗になるようなものが、何かを実施する上であると伝わりやすいのではないか。	(p 17 等) 基本方針ごとに基本方針を簡潔にイメージさせる文言を追記。
5	社会的なリスクと社会的なチャンスというものも書き込めるとよい。 例えば社会的リスクについては、国が温暖化対	(p 16、p 20-23、p 26-27、p 30-31) 社会的なリスク、動向や事例をコラムを追加。

	<p>策のために多額の投資を先行でしているが、その財源は後で炭素税で確保することを言っているため、数年後、炭素税が導入されたら電気代等が上がってくるので、そのように変わっているというリスクも少なくとも研修会などで周知できたらよい。</p> <p>社会的なチャンスについては、気候変動対策や生物多様性に貢献するような企業が評価されるような社会になっていくので、その時流に乗っていった方がいいということも見えるものがあるればよい。</p>	
6	<p>食品残渣の処理については、企業によっては産廃に扱っているのが現状で、それに対する取組を入れてはどうか。</p>	<p>(p 25)</p> <p>「<u>バイオマス由来製品の製造</u>など、資源循環型産業の育成・支援を進めます」を</p> <p>「<u>バイオマス利用の推進</u>など、<u>資源循環型産業・経済</u>の育成・支援を進めます」に修正。</p>
7	<p>「人づくりに環境を入れましょう」において、先日、環境教育等促進法の基本方針が改正されたので、特に若者が社会変革の担い手になっていけるような教育、その場づくりというのを盛り込まれるとよい。</p>	<p>(p 35)</p> <p>「人づくりに環境を入れましょう」に社会変革への参画促進について追記。</p>
8	<p>例えば脱炭素に向けて企業が参加されている団体、組合ごとでワークショップをする場合の講師料やコーディネーターを招聘する費用を支援していただくようなサポートする仕組みというのでも整備していただけるとよい。</p>	<p>地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を実施していく上で検討。</p>
9	<p>観光面においては、海水浴等で来られた観光客が環境の活動をすることで、観光の次に繋がるような取り組みもしていただけるとよい。</p>	<p>観光の事業を実施していく上で検討するよう商工観光部と情報共有を図る。</p>

10	<p>創業期では限られた資金の中で事業を行っており、環境への関心はあるが、環境の取組には資金が必要となってくるため助成金などを検討していただきたい。また、すでにある助成金に環境配慮の取組をした場合には助成金の上乗せがあれば、経営者も取組みやすくなるのではないか。</p>	<p>商工の事業を実施していく上で検討するよう商工観光部と情報共有を図る。</p>
11	<p>新コミュニティづくりが行われており、新コミュニティに環境を結びつけて、学びの機会の提供を計画に盛り込んでいただければ、よりよい事業になるのではないか。</p>	<p>新たなコミュニティづくり事業の中で、現在の課題やあり方等について出前講座が用意されており、各コミュニティが主体となり検討することについて協力。</p>
12	<p>脱炭素経営をすると生産性が下がるというイメージを持たれる業種もあり、関係機関が業界に向けて理解してもらいやすいセミナーや研修を開催して理解を促していかないと浸透していかないのではないか。</p>	<p>No8と同じ。</p>

2. その他の修正・追加

(1) 「はじめに」を目次より前に移動。

(2) 専門的な用語等に※印をつけ、巻末に用語集を追加。

(3) p4

変更前	変更後
○ <u>気候危機</u> （地球沸騰化時代の到来）	○ <u>気候変動</u> （地球沸騰化時代の到来）

（京丹後市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の表現と合わせる。）。

(4) p9

変更前	変更後
<u>江戸時代までは水力や森林といった循環型資源を基調とした文明を築いてきました。しかし、</u> 明治以降、化石燃料を大量に利用することで産業革命を実現し、現在の繁栄をもたらした一方で、深刻な環境危機に直面しています	明治以降、化石燃料を大量に利用することで産業革命を実現し、現在の繁栄をもたらした一方で、深刻な環境危機に直面しています。

(5) p10

変更前	変更後
この自然資本が <u>臨界的水準を下回ることがあれば</u>	この自然資本の <u>復元力を超えてしまうと</u>

(6) p18

変更前	変更後
環境ターゲット	
脱炭素化に向けた暮らし・ <u>産業</u> への転換を進める	脱炭素化に向けた暮らし・ <u>事業活動</u> への転換を進める
重点施策	
<u>脱炭素化の暮らし・産業に向けた行動変容・ライフスタイルの転換を後押しする取組</u>	<u>暮らしにおける行動変容・ライフスタイルの転換支援</u>
<u>森林・グリーンインフラの整備</u>	<u>海や森林、農地を活用した排出抑制と適</u>

	<u>応対策の推進（グリーンインフラ※の整備、ブルーカーボンの情報収集等）</u>
--	---

(7) p24

変更前	変更後
取組目標	
<u>自立した持続可能な循環型社会の形成</u>	<u>ごみの発生抑制と循環型社会の形成</u>
環境ターゲット	
循環型の社会・産業への転換を行う	循環型の社会・産業への <u>意識</u> 転換を行う
<u>廃棄物の処理体制の維持・強化を行う</u>	<u>ごみの発生抑制、廃棄物の処理体制の維持・強化を行う</u>
<u>生活排水処理の適正化に努める</u>	(「5.4 環境リスク」に移動)
重点施策	
<u>4R が当たり前な社会の推進</u>	<u>4R の推進</u>
<u>既存焼却施設に係る長寿命化対策</u>	<u>市内ごみ処理フローの見直し</u>
<u>新たな焼却施設の整備計画の検討</u>	<u>ごみ処理に係る基盤整備</u>
<u>新たな最終処分場の整備計画の推進</u>	<u>新たな分別・資源化排出の推進</u>
生活排水処理に係る合理化、水洗化の推進	(「5.4 環境リスク」に移動)
市民行動	
<u>分別対象は「ごみ」でなく「再活用」にあることを理解しましょう</u>	<u>ごみは「資源」と捉え、分別は「再活用」であることを理解しましょう</u>
<u>「循環」への心がけが、次世代の環境・暮らしに繋がります</u>	<u>「循環」への心がけが、持続可能社会に繋がります</u>

(8) p25

変更前	変更後
<u>再資源化が可能な未分別ごみの分別排出・処理の方策について検討を進めます</u>	ごみの分別排出・処理の方策について <u>見直しを継続します</u>
<u>ごみ焼却施設の長寿命化・延命化と次期焼却施設の整備計画の検討を進めます</u>	<u>次期廃棄物処理施設の整備計画の検討を進めます。</u>
ごみの発生抑制及び分別・再資源化の促進について、 <u>地域住民等</u> の理解と協力の確保に努めます。	ごみの発生抑制及び分別・再資源化の促進について、 <u>市民等</u> の理解と協力の確保に努めます。
●「生活排水処理」の適正化に努める	(「5.4 環境リスク」に移動)

<input type="checkbox"/> 公共用水域の水質保全と衛生的で快適な生活環境の確保に向けて取り組みます。 <input type="checkbox"/> 下水道への接続を促進し、水洗化の推進と効率的で適切な汚水処理を進めます。 <input type="checkbox"/> 接続助成や下水道事業普及推進員による水洗化推進に取り組み、生活雑排水を公共用水域に流さないよう協力を呼びかけます。 <input type="checkbox"/> 水洗化の進行や施設の老朽化の状態に応じ、し尿処理施設の運営等の合理化を進めるとともに、施設の統廃合も含めた効率的な更新に向け調整を図ります。 <input type="checkbox"/> 下水道整備の早期完了を目指します。	
---	--

(9) p28

変更前	変更後
自然資源活用型の産業における基盤強化と人材育成	自然資源活用型(一次産業及び地場産業)の産業における基盤強化と人材育成

(10) p29

変更前	変更後
(新規追加)	生物多様性を育む農業、つくり育てる漁業と海業を推進します

(11) p32

変更前	変更後
環境ターゲット	
(「5.2 限りある資源」から移動)	生活排水処理の適正化に努める
重点施策	
(「5.2 限りある資源」から移動)	生活排水処理に係る合理化、水洗化の推進
推進計画	
大雨や台風に伴う海岸漂着物の処理問題が顕在化しており、持続可能な対応と対策の取組を進めます	災害廃棄物や海岸漂着物の処理問題*が顕在化しており、持続可能な対応と対策の取組を進めます

(12) p33

変更前	変更後
推進計画	
(「5.2 限りある資源」から移動)	(「5.4 環境リスク」)

	<ul style="list-style-type: none"> ●「生活排水処理」の適正化に努める □公共用水域の水質保全と衛生的で快適な生活環境の確保に向けて取り組みます。 □下水道への接続を促進し、水洗化の推進と効率的で適切な汚水処理を進めます。 □接続助成や下水道事業普及推進員による水洗化推進に取り組み、生活雑排水を公共用水域に流さないよう協力を呼び掛けます。 □水洗化の進行や施設の老朽化の状態に応じ、し尿処理施設の運営等の合理化を進めるとともに、施設の統廃合も含めた効率的な更新に向け調整を図ります。 □下水道整備の早期完了を目指します。
--	--

(1 3) p 34～35、環境ターゲットの語尾を統一。

(1 4) p 38、各種目標・指標等の項目を追加。なお、次期総合計画の見直し中であり、次期総合計画に合わせることをしているため、名称等が変更になる可能性がある。

(1 5) その他字句や句読点等の軽微な修正。